

松山大学経営学部が目指す基本的素養、学習成果、カリキュラム・ポリシー

基本的素養	学 習 成 果	カリキュラム・ポリシー(教育課程編成方針)
知識・理解	社会が必要とする経営学、情報、会計学、商学の専門知識を有して活用できる。	経営学、会計学、情報、商学、経営教育、国際ビジネスの分野の講義科目・演習など
	企業、組織と社会との関係について理解し、説明できる。	経営学概論、簿記原理、経営学部基礎演習、演習第一、演習第二、演習第三、卒業論文など
	企業、組織がもつ部門とその活動について理解し、説明できる。	産業研究とキャリアプランニング、地域産業論、銀行論、上記以外の経営学、会計学、情報、商学、経営教育、国際ビジネス分野の講義科目・演習など
思考力	企業や組織など、社会の諸事象について論理的に考えることができる。	4年間の経営学、会計学、情報、商学、経営教育、国際ビジネスの分野の講義で学んだ知識を基礎にして「演習」活動と「卒業論文」の作成を通して培う
汎用的技能	企業や組織などの諸問題についてITスキルや分析手法を効果的に活用することができる。	ITスキルズ、コンピュータ初級、コンピュータ通論、経営基本統計学、経営工学概論、経営情報システム論、経営データ解析、経営科学、品質システム論、情報処理論(基礎)、情報処理論(応用)、経営財務論、商業会計論、原価計算論、税務会計論、会計情報解析論、管理会計論、資金会計論、財務会計論、国際会計論、工業会計論、会計監査論、上記以外の経営学、会計学、情報、商学、経営教育、国際ビジネスの分野の講義科目、演習など
	問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析して問題を適切に解決できる。	ITスキルズ、コンピュータ初級、コンピュータ通論、経営基本統計学、経営工学概論、経営情報システム論、経営データ解析、経営科学、品質システム論、情報処理論(基礎)、情報処理論(応用)、経営財務論、商業会計論、原価計算論、税務会計論、会計情報解析論、管理会計論、資金会計論、財務会計論、国際会計論、工業会計論、会計監査論、産業心理学、カウンセリング論、上記以外の経営学、会計学、情報、商学、経営教育、国際ビジネスの分野の講義科目・演習科目など
	言語、ITスキルを活用して他者に自己の考えを伝えたり、他者の考えを聞いて理解することができる。	外国語科目、インターンシップ活用Ⅰ・Ⅱ、インターンシップ研修A・B、国際コミュニケーション・スキルズ、国際ビジネスコミュニケーション、実用英語、演習、卒業論文など
興味・関心	企業や組織などの経営、管理、運営について問題意識と関心をもつことができる。	簿記原理、経営学概論、企業論、経営管理論、経営戦略論、経営組織論、人的資源管理論、マーケティング論、国際経営論など
	海外の企業や組織などについて興味・関心をもつことができる。	国際経営論、国際会計論、国際マーケティング論、貿易論、一般経営史、商業史など
態度・志向	幅広い教養と専門知識を基に国内、国外の歴史、社会、政治について異文化理解ができる。	共通教育科目(人文・社会科学、自然科学)、言語文化科目(言語文化基礎科目、言語文化上級科目、言語文化演習)、健康文化科目(健康生活、スポーツ科学、健康文化演習)など
	企業や組織に関する知識や技能を活かして問題解決のために実践的に行動できる。	ITスキルズ、コンピュータ初級、コンピュータ通論、経営基本統計学、経営工学概論、経営情報システム論、経営データ解析、経営科学、品質システム論、情報処理論(基礎)、情報処理論(応用)、経営財務論、商業会計論、原価計算論、税務会計論、会計情報解析論、管理会計論、資金会計論、財務会計論、国際会計論、工業会計論、会計監査論、上記以外の経営学、会計学、情報、商学、経営教育、国際ビジネスの分野の講義科目・演習など
	公正な倫理と使命観をもって自己の職業を通して社会のために積極的に関与できる。	情報社会・倫理論、キャリアマネジメント論Ⅰ・Ⅱ、キャリア形成論、キャリア形成実践論、インターンシップ活用Ⅰ・Ⅱ、インターンシップ研修A・B、産業研究とキャリアプランニングなど
	生涯にわたって教養や知識を修得するために自立的に行動できる。	キャリアマネジメント論Ⅰ・Ⅱ、キャリア形成論、キャリア形成実践論、インターンシップ活用Ⅰ・Ⅱ、インターンシップ研修A・B、生涯学習論、ライフコース論など